白山市立松任図書館だより

2025年2月号

2025年2月1日発行
編集・発行＝白山市立松任図書館

〒924-0872 白山市古城町305番地
電話(076)274-9877　FAX (076)274-5401
URL https://www.hakusan-lib.jp
e-mail library@hakusan-lib.jp

2月の行事予定

★ 1階 展示コーナー

レファレンスカウンター前

♪ 「蔦屋重三郎と江戸の文化」展

期間：～2月11日(火･祝)

内容：江戸時代に活躍した「蔦重」こと蔦屋重三郎と、彼とゆかりの深い作家や浮世絵師に関する資料を集めて展示・貸出しています。

♪ 読書で世界一周

期間：2月15日(土)～3月16日(日)

内容：読書を通じて世界各地の文化・習俗に触れてみませんか。エッセイ他文学作品、料理、民話絵本など幅広く集めて展示します。

正面展示

♪ 白山市制20周年記念事業
「白山市立図書館20年のあゆみ展」

期間：～2月28日(金)

内容：市立図書館の20年の軌跡をパネル展示するとともに、図書館のベストリーダーや国内のベストセラー、主要文学賞受賞図書を集めて展示しています。

中央展示

♪ 「小学校図書委員おすすめ本」

期間：～2月13日(木)

内容：市内小学校図書委員さんがおすすめする本を展示しています。

北口展示

♪ 移動図書館「のびのび号」の本展

期間：～2月19日(水)

内容：冬季運休中の移動図書館のびのび号の所蔵資料を展示しています。

北口ミニ展示

♪ 白山検定展示

期間：～2月28日(金)

内容：白山検定の参考資料、要項、過去問題正答表などを展示しています。

★ 2階 こども図書館

♪ 「なが～い」本展

期間：～2月18日(火)

内容：令和7年の干支・巳にちなみ、へびや長いものが登場する絵本や物語を集めて展示しています。

♪ 「ピンク色」の本展

期間：2月20日(木)～5月8日(木)

内容：表紙がピンク色の絵本や児童読み物などを集めて展示します。

★ おはなし会（会場：2階おはなしルーム）

♪ 0・1・2歳児向け

2月　5日(水)午前10時30分～　アリス文庫
2月12日(水)午前10時30分～　図書館職員
☆2月19日(水)午前10時30分～　ハーリトルワールド

♪ 幼児向け

☆2月　8日(土)午前11時～　ABCの会
2月15日(土)午前11時～　おはなしびわの実
2月22日(土)午前11時～　松任おはなしの会
☆外国語のおはなし会

★ ブックスタート

＊4か月児健診のお子さんと保護者

会場：健康センター松任

内容：親子がふれあうかけがえのないひとときを「絵本」を介して持ってもらうため、絵本入りバッグをお贈りします。

★ ボランティアデー

日時：2月4日(火)、15日(土)、
午前9時～10時

場所：1階 ロビー

内容：返却資料の配架と書架整理

展示コーナーから 本のおすすめ

梨の子ペリーナ

イタロ・カルヴィーノ 再話　関口 英子 訳
酒井 駒子 絵　BL 出版　Ｅナ

　このお話は、イタリアを代表する作家が各地に伝わる民話 200 編を「イタリア民話集」としてまとめたうちの一つで北部の果樹栽培が盛んな地域に伝わるものです。働き者の女の子が王様から無理難題を突き付けられお城を追い出されてしまいますが、梨の木の精が力を貸してくれて、次々と困難を乗り越えていきます。文字でみると不気味な描写もありますが、酒井駒子さんの絵が優しく読者を誘ってくれる美しい絵本です。

２階 こども図書館 「『ピンク色』の本展」より

りぼん ちょうだい

かんざわ としこ 文　ましま せつこ 絵
こぐま社　Ｅリ

　贈り物の箱に結ばれたピンク色の長いりぼん。女の子が「りぼん ちょうだい」とりぼんをもらうと、切って自分の髪に結びます。りぼんはまだまだ残っていたので、いつもかわいがっている、人形のおさげ髪へも結んであげます。するとそこへ、あひるやねこ、ねずみたちが次つぎと、「りぼん ちょうだい」とやってきました。みんなはりぼんを分けてもらうと、それぞれ首に結んで飾ったり、遊び道具にしたりと嬉しそう。そのあとにかえるが５匹やってきましたが、りぼんはもうほんのちょっぴりしか残っていませんでした。でも心配ご無用！かえるたちはとってもいいことを思いついたのです。分け合うことでひろがるしあわせが描かれた絵本です。

１階 展示コーナー 「読書で世界一周」より

ロバのスーコと旅をする

高田 晃太郎 著　河出書房新社　292.72 タ

　ロバと一緒にイラン、トルコ、モロッコを旅する様子が写真と共に綴られた旅行記。一筋縄ではいかないロバとの旅の中で、筆者はいくつもの出会いと別れを繰り返しながら、一歩ずつ進んでいきます。落ち着いた筆致の中にも、ロバに向けられた筆者の優しい眼差しを感じることができます。

イラストＣ・Ｙ

あなの なかから・・・

さいとう しのぶ 作　あすなろ書房　Ｅア

　りすがひとりで歩いていると、地面に開いた穴のからもぐらがばあ！と出てきたよ。つぎは、ねこが部屋で横になっていると、壁に開いた穴からねずみがばあ！と飛び出してきた。みーんな不意を突かれてびっくり仰天！しかも、ひとつの穴からだけでもびっくりなのに、穴の数が３つ４つと増えてきて、ばあ！ばあ！ばあ！が続きます。それからそれから？どうなるのかな？おどろかすほうもおどろくほうも両方とも、表情を見ているだけで楽しくなります。なかには生きものではない意外なものも穴から飛び出てくるのですが、いったいなにが出てくるのかな？それは読んでのお楽しみです。

「松任図書館だより」は白山市立図書館ホームページ上でもご覧いただけます。